

2020年度 事業報告書

学校法人名 学校法人 国際文化アカデミー

学校法人所在地 東京都豊島区巣鴨3丁目2番12号

2020年度 事業報告

学校法人 国際文化アカデミー

1. 総括

今年度につきましては、20年3月から影響が顕著となりました新型コロナウイルス感染症の蔓延拡大により、学校運営は多大な影響を受けました。特に政府の2度にわたる緊急事態宣言により、新学期から2か月間の休校に始まり、感染症対策に伴う学校行事の中止や簡素化、学校生活においても感染予防のための行動変容などで教育成果及び進路指導に大きな影響がありました。2年生の進路につきましては、旅行業界をはじめツーリズム産業の将来不安により就職活動に大きな影響があり就職希望者内定率の低下をきたしました。また、21年度新入生の募集につきましても同様に影響を受け、大幅に定員を下回りました。反面、オンライン授業の試験的な開始や従来の就職先企業以外からの求人による内定獲得など、コロナ禍を契機に新しい取り組みや挑戦に繋がった成果もありました。

今年度は新・中期経営計画「RE-CREATION JTC」の初年度でありましたが、1年間の実行内容の検証により、次年度は必要に応じた軌道修正を図り、計画当初通り2022年に創立40周年を迎えるJTBトラベル&ホテルカレッジの「新たな創造」を目指したいと存じます。

なお、20年度の状況を踏まえた重要経営課題は、

- ① コロナ禍後のツーリズム産業に求められる人材像の探求と育成
- ② JTBグループへの就職強化とグループ外就職先の更なる拡充
- ③ 新入学生の募集人員増加にむけた施策の再検討と実施
- ④ 上記①に連動する教育カリキュラム、システム整備、学校運営・要員体制の再検討と設定し、課題解決に向けて取り組みを継続して参ります。

一方、収支状況に関しましては、今年度入学生より授業料の値上げを実施し、学校運営体制強化に向けた先行投資も含めて、当初予算では教育活動収支602万円（事業活動収支500万円）の収入超過の予算編成をいたしました。しかしながら、想定入学者数の減少及び退学者の発生に伴う収入減とコロナ感染予防対策費の増加に伴う支出増などが影響し後述のとおり、教育活動収支331万円（事業活動収支170万円）の支出超過となりました。次年度の教育活動収支につきましては、学生数の過去に例を見ない定員割れに伴う大幅な支出超過が見込まれることから、教育内容及び教育環境の劣化を招くような対象やレベルの支出削減は避けることを前提に、一時的な人件費削減策を講じると共にあらゆる経費の見直しによる経費削減を図り支出超過の縮減に努めて参ります。

2. 教務・学生指導関連

教務・学生指導につきましては、文部科学省および管轄の教育委員会の新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動通達に基づき、2か月間の臨時休業からスタートしました。授業の出遅れを夏季休校期間の短縮、オンライン授業の試行、授業計画の変更等により前期授業時間数の確保に努めました。授業以外の学校行事、学外活動については、感染防止策を十分に講じ、可能な限り実施をいたしました。また新設した「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース」の運営を軌道するべく効果検証を行ってまいりました。

重点課題といたしましては、以下の2点に取り組んでまいりました。

- ① 「求められる人材」の育成に向けた多彩なカリキュラム展開
 - ・今年度新設した「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース（以下GIコース）」は28名でスタートしました。1年目を終え、カリキュラムの設計や、学生の進路希望など当初計画と異なる課題、改善点が顕在化してまいりました。また1年次の春休みに計画していた実習も見送りとなりました。次年度1年間引き続き検証し、効果的かつ魅力あるコースを完成してまいります。
 - ・新設の資格取得科目「旅のユニバーサルデザインアドバイザー」については、国際観光ビジネス科1年125名が受験し116名の合格（合格率92.8%）となり、就職活動の優位性にも繋がる本校ならではの資格取得科目として継続してまいります。

- ② 新・カリキュラム開発プロジェクト設置による新たな学校づくり

ツーリズム産業の裾野の広がりや求人像の多様化が求められている中、旧態依然の学生指導の脱却を本中期経営計画で掲げております。

データリテラシー関連授業の拡充、ニューツーリズム関連授業の導入、オンライン教育カリキュラムの開発が主な目標ですが、残念ながら、コロナウイルス感染防止を優先した今年度はほとんど着手することができませんでした。

次年度予定している「データマーケティング講座」（GIコース）、国際観光ビジネス科国家試験科目夏期特別授業のオンライン授業の拡充とともに、コロナ禍後のツーリズムマーケット変化に対応するカリキュラム開発をスピード感をもって着手してまいります。

具体的な取組内容、成果については以下のとおりです。

- (1) 学生動向について

今年度は新1年生226名（昨年258名）を迎え、学生総数449名（昨年466名）でスタートしました。期中における退学者は33名、留学による休学者・復学者の出入りを含め、2021年度の新2年生は206名となりました。

学生の在籍者推移は【表1】、また学科別の在籍者推移は【表2】のとおりです。

退学者の理由としましては、コロナ感染拡大による留学生の帰国希望、日本人学生はツーリズム産業の将来像を描くことができず、他業界の進路変更するケースが例年になく特徴となっております。

【表1】 学生在籍者推移

[単位:人]

	2020年度		2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	
	1年生	2年生					
期首在籍数 (復学者)	449 (10)	226 (2)	223 (8)	466 (12)	456 (6)	503 (8)	526 (5)
退学者	33	26	7	36	35	43	29
期中休学	4	3	1	2	4	1	0
期中復学	1	0	1	0	0	0	0
期末在籍数	413	197	216	428	417	460	497
退学率	7.3%	11.5%	3.1%	7.7%	7.7%	8.5%	5.5%

【表2】 学科別・学生在籍者数推移 [期首]

[単位:人]

	2020年度		2019年度		2018年度				
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生			
国際観光ビジネス科	283	141	142	294	164	130	280	148	132
訪日科	84	43	41	87	47	40	84	45	39
国際ホテル&ブライダル科	49	27	22	46	25	21	47	23	24
夜間部	33	15	18	39	22	17	45	21	24
期首在籍数	449	226	223	466	258	208	456	237	219

(2) 旅行業務取扱管理者資格の取得について 【表3】【表4】

今年度の国内旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、国内）79名、うち1年生全科目合格者は65名となりました。合格率は49.6%と、全国平均を13.5ポイント上回りましたが、目標の70%には到底到達できませんでした。

総合旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、総合）114名、うち1年生合格者は48名、合格率35.8%となり、国内同様目標の40%に届かず、昼間部については2か月間の授業開始の遅れ、絶対的な学習時間の不足による結果となりました。夜間部は、コロナによる企業実習の中止により例年より学習時間の確保が合格率アップにつながりました。また、昨年度総合を受験できなかった2年生については、128名受験し61名（合格率47.7%）の結果に終わりました。

【表3】 総合旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2020年度結果				2019年度結果				2018年度結果		
		合格者	2018増減	合格率	受験者	合格者	増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年	48	▲22	35.8%	134	▲70	#DIV/0!		70	52.6%	133	
	全国結果	756	261	18.5%	4,086				495	11.0%	4,512	
他	他1年生	5	3	35.7%	14				2	11.1%	18	
	2年生他	61	44	47.7%	128				17	32.7%	52	
JTC 計 (ウチ留学生)		114	25 (+0)	41.3%	276	▲65 (▲6)	#DIV/0!		89 (6)	43.8%	203	

台風19号直撃,
コロナウイルス感染防止のため、
試験中止

【表4】 国内旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2020年度結果				2019年度結果				2018年度結果		
		合格者	増減	合格率	受験者	合格者	増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年	65	▲51	49.6%	131	116	6	75.8%	153	110	80.9%	136
	全国結果	4,031	▲1,091	36.1%	11,181	5,122	▲66	39.1%	13,103	5,188	38.3%	13,550
他	他1年生	7	▲3	50.0%	14	10	▲1	55.6%	18	11	61.1%	18
	2年生	7	▲1	17.5%	40	8	6	23.5%	34	2	4.2%	48
JTC 計 (ウチ留学生)		79	▲55 (4)	42.7%	185	134	11 (9)	65.4%	205	123 (9)	60.9%	202

(3) その他、各種資格の取得について

学科別及び学科共通で、各種検定試験の受験による資格取得を奨励しており、今年度の合格状況は【表5】のとおりです。

2年目受験を迎えた国家資格「ホテルマネジメント技能検定」3級につきましては、受験者14名に対し合格者7名（合格率50%）と目標45%を上回る結果に終わりました。

世界遺産検定1級は3年ぶりに1名合格、今年度より名称等級を変更して実施した旅行地理検定世界上級も1名の合格がございました。

(4) 実習・研修プログラムの実施状況について

校内での講義以外に、基礎的な旅行・観光関連実務の体得を目的とした学外実習や研修を、学科別にカリキュラムに織り込み、効果的な専門能力の養成に努めております。学科別実習・研修の実施状況につきましては、【表6】のとおりです。

【表5】各種検定試験 合格者推移

[単位:人]

資 格	2020年度		2019年度		2018年度	
	年度	増減	年度	増減	年度	増減
旅行地理検定日本上級(※)	0	—	—	—	—	—
旅行地理検定日本中級(※)	20	—	—	—	—	—
旅行地理検定世界上級(※)	1	—	—	—	—	—
旅行地理検定世界中級(※)	4	—	—	—	—	—
ビジネス能力検定3級	29	▲24	53	▲1	54	▲7
パソコン検定2級	14	▲4	18	▲18	36	1
パソコン検定1級	1	▲2	3	0	3	0
世界遺産検定1級	1	1	0	0	0	▲1
世界遺産検定2級	18	2	16	▲20	36	16
実用英語技能検定2級	5	▲2	7	3	4	1
秘書検定2級	12	2	10	8	2	▲1
秘書検定準1級	0	0	0	▲1	1	1
ホテルマネジメント技能検定3級	7	1	6	—		
レストランサービス技能検定3級	16	0	16	▲2	18	9
ブライダルコーディネーター技能検	8	6	2	0	2	0

※名称等級変更、2019年度以前「旅行地理検定国内/海外1～3級」

【表6】学科別 実習・研修実施状況

学科	対象	種別	内 容	実施時期	備 考
国際観光ビジネス科	1年	必修	① 校外学習	11月	成田から羽田空港に変更、時間短縮実施
	1年	必修	② 国内研修旅行	2月	沖縄2泊3日中止(次年度検討)
	1年	選抜	③ 海外支店実習	2～3月	中止、オンライン就業体験5日間実施
	1年	選抜	④ 法人個所実習	2月	中止
	2年	必修	⑤ 国内支店実習	夏期	11月に3日間(例年3週間)にて実施
	2年	必修	⑥ 海外研修旅行	12月	パリ4泊6日中止(オンラインツアー実施)
訪日科	1年	選抜	① 国内研修旅行	9月	草津1泊2日中止(次年度検討)
	1年	必修	② 校外学習	11月	鎌倉日帰り(江ノ島中止)
	2年	選抜	③ 国内研修旅行	8月	北海道3泊4日中止
国際ホテル&ブライダル科	1年	必修	① 国内ホテル見学	11月	横浜みなどみらい地区
				2月	帝国ホテル・セルリアンタワー東急中止
	1年	必修	② 国内ホテル実習	夏期	中止
				冬期	越後湯沢、稲取、湯河原
2年	必修	③ 海外研修旅行	12月	国内(北陸、加賀屋)にて実施	
夜間部	1・2年	必修	デュアル実習	年間	1年生は前期実施できず

今年度はコロナウイルス感染防止の観点で実施の可否を十分検討し、実施の場合は、3密の回避、時間短縮など細心の注意と準備を整えて実施いたしました。

代案実施により新たな気づきも得ました。

- ・パリ研修旅行：パリに加え、ローマ、バルセロナ、ロンドンと中継し、現地ガイドによるライブオンラインツアーを実施しました。
- ・海外支店実習：学内選抜20名をオセアニア、ヨーロッパ、シンガポール、アメリカの4方面でオンライン就業体験を実施しました。
- ・ホテル実習：例年、首都圏地区ホテル、沖縄を主にしたリゾートホテルで実施しておりました。今回首都圏地区ホテルの受け入れが困難の中、新規で新潟、静岡地区の旅館、ホテルのご協力をいただき実施することができました。

(5) 特別講師による授業の実施状況について

1年生を対象とした「クローズアップ（業界・企業）」につきましては、職業意識の醸成を目的として観光関連各企業の協力を仰ぎ、また内定後の2年生を対象とした「クローズアップ（観光産業）」につきましては、変化するツーリズム産業における旬のテーマや業界動向の理解を目的として、各企業に加え関係諸機関の方々にもご協力いただき、【表7】のとおり実施いたしました。

【表7】クローズアップ講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関	
クローズアップ (業界・企業)	国際観光 ビジネス科 1年生	①JTB ②JTBビジネスネットワーク ③JTBベネフィット ④JTBコミュニケーションデザイン ⑤JTBビジネストラベルソリューションズ ⑥JTBグローバルマーケティング & トラベル ⑦商船三井客船 ⑧アマン東京(※) ⑨首都圏新都市交通(つくばエクスプレス)	⑩叙々苑 ⑪ひらまつ ⑫にしけい ⑬小田急トラベル ⑭東京ヤサカ観光バス
クローズアップ (観光産業)	国際観光 ビジネス科 2年生	①JTB Tokyo2020推進室 ②JTB海外仕入商品事業部(世界遺産検定マイスター) ③JTB総合研究所(アドベンチャーツーリズム、国際観光の現状) ④エコツーリズム(流通経済大学教授) ⑤喜久多(温泉旅館の現状と未来) ⑥NIPPONIA SAWARA(香取市の観光まちづくり) ⑦ジャパンショッピングツーリズム協会 ⑧クルーズバケーション ⑨アニメツーリズム協会	⑩ロングステイ財団 ⑪日本健康開発財団 ⑫インフラツーリズム

※アマン東京様は、来校せずリモート講義にて実施

また「ホスピタリティ講座」につきましては、業界に携わる人材に最も重要となるホスピタリティについて、**【表8】**のとおり、現場の最前線で活躍しているプロフェッショナルな方々や卒業生たちから、経験談を踏まえてホスピタリティの本質を語っていただき、ホスピタリティを具体的に行動に移せるような機会を設けました。

【表8】ホスピタリティ講座講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関	
ホスピタリティ 講座	国際観光 ビジネス科 2年生 国際ホテル&ブ ライダル科 1・2年生	JTB代表取締役相談役 JTBお客様相談室 JTBデータサービス ジェイアイ傷害火災保険 JCBトラベル 巣鴨信用金庫 明海大学 はとバス ベルトラ	帝国ホテル ホテルニューオータニ東京 京王プラザホテル(※) JRホテルグループ グランドニッコー東京台場 ハイアットリージェンシー京都 フェイスアップ 稲取温泉 石花海 ホテル一井

※京王プラザ様は、来校せずバリアフリーのお部屋を中継するなどリモート講義にて実施

(6) 学校行事・学内イベントの実施について

クラス仲間同士、クラスの垣根を超えた学生同士、さらには教職員との絆を深め、授業以外でのチームワークとコミュニケーション向上を目的とし、学生生活ならではの全員参加型の学校行事・学内イベントを実施しておりますが、今年度はコロナ対策を踏まえた上で、次のとおり開催をいたしました。

- ◆ 体育祭 (10月・時間短縮)
- ◆ 鴨祭 (11月・時間短縮)
- ◆ 英語スピーチコンテスト (11月)
- ◆ 日本語スピーチコンテスト (訪日科:1月) ※中止 ◆ 学生交歓会 (5月)

(7) コロナ禍の新たな取り組み

①遠隔授業

デジタルツールを使用した遠隔授業を一部実施いたしました。4、5月の休校時は入学者向けにオンデマンド型（あらかじめ講義を録画し、いつでも学生が閲覧できる動画配信）、旅行業務取扱管理者試験対策では、同時双方型（リアルタイムで学生が自宅で受講）や対面授業ではTVモニターとPCをつなげ、複数クラス授業を同時に実施するなど、様々な授業スタイルを試みることで、授業時間数の確保にもつなげました。次年度においては、対面授業を基本としながらも、非常事態時のみならず平時でのデジタル対応の標準化を図ってまいります。そのために非常勤講師・在校生に学校専用メールアドレスを開設し、コミュニケーションの円滑化にもつなげてまいります。

②感染症防止対策

3密を避けるための「新型コロナウイルス感染症 予防ガイドライン」を策定し、在校生に対し、新たな生活様式、新たな授業体制で運営してまいりました。

具体的な取り組みは次の通りです。

- ・授業時間の30分繰り下げ（9時30分→10時開始）
- ・学校入り口でのサーモグラフィーによる検温ならびに手指消毒実施
- ・マスク着用必須ならびにフェイスシールド配布
- ・手洗い、うがいの励行
- ・校内消毒
- ・授業時の教室出入口扉、窓の開放による換気の徹底
- ・対面での昼食をとらないなど昼食時のマナー徹底と教職員による教室巡回
- ・体温37℃以上、通常と異なる症状の場合、速やかに帰宅、医療機関受診の奨励
- ・感染症予防セミナー

なお、当校学生におきましても感染者が発生いたしましたが、当校保健師及び当該保健所との連携の上、一部のクラス閉鎖や適切な情報開示（学生メール配信・HP掲載）、ガイドラインに沿った的確な対応を行った結果、校内クラスター発生等の重大な事態には至りませんでした。

3. 進路指導関連

2021年3月卒業予定者のうち、日本人学生の就職状況につきましては、就職希望者152名中139名（内定率91.4%）が採用内定となり、6年振りに就職内定率100%は未達成に至っております。

留学生につきましては、33名中26名（内定率78.8%）となり、当校全体では165名、内定率89.2%の結果となりました。

2020年1月より本格スタートした就職活動ですが、間もなく新型コロナウイルス感染に伴い、採用企業の一時中断、採用見送りを余儀なくされ、例年になく長期戦となりました。ツーリズム業界志望をあきらめ、他業界にも目を向け内定を勝ち取った学生も例年になく傾向となりました。

日本人学生、留学生を併せた165名の就職内定先は、11ページ【表10】のとおりです。

旅行関連会社への内定者 58 名（構成比 34.1%）のうち 81%にあたる 47 名が、JTB グループ会社、及び JTB 総合提携店・パートナー店に内定しております。

採用見送りでメディア等にも早々からニュースになっていた空港サービス関連では、採用意欲のある企業様からの求人により、昨年度と同様の内定数を確保できました。ホテル・レストラン関係では、夏期まで採用中断していた中で、秋以降採用再開の動きがあり、昨年とほぼ同程度の内定をいただきました。ツーリズム産業以外の一般企業内定者は例年の 5 倍（構成比 12.7%）となっているのが特徴となっております。

また、東洋大学編入学指定校推薦制度により 3 名が合格したこと、一般編入にて大学や大学院に進学する留学生もおり、進路の多様化が進んでおります。

なお 39 期生（現 1 年生）対象の本校で実施した企業説明会を 12 月より開始しております。ご協力をいただいた企業様は、旅行会社、宿泊施設が中心に【表 9】のとおりでございます。

【表 9】企業説明会 実施状況

講師派遣協力機関	
JTB	ホテルオークラ東京
JCBトラベル	プリンスホテル
JTBベネフィット(※)	共立メンテナンス
JTBビジネストラベルソリューションズ	ハレクラニ沖縄(※)
JR東海	ロイヤルパークホテルアンドリゾート
東京地下鉄(※)	オリックスホテルマネジメント
にしけい	ヒルトン東京
東京ヤサカ観光バス	コンラッド東京
JTB協定旅館ホテル連盟(7施設)	リゾートトラスト(※)
※7施設中 2 施設が今年度新規実施施設	ミリアルリゾート(※)

※オンライン説明会実施

【表10】2020年度卒業生(第38期生) 内定先一覧

	総数	就職希望者数	内定者数	未内定者	内定率	前年就職者数
日本人学生	169人	152人	139人	13人	91.4%	138人
留学生	47人	33人	26人	7人	78.8%	42人
計	216人	185人	165人	20人	89.2%	180人

欄外*印は
留学生採用企業

●JTBグループ企業 構成比 23.6% ← 35.0%

企業名	人数	増減	37期
1 JTB	18	▲4	22
2 JTBガイアレック	2	▲1	3
3 * トラベルプラザインターナショナル	3	▲1	4
4 JTBビジネストラベルソリューションズ	5	▲3	8
5 JTBグローバルマーケティング&サポート	3	±0	3
6 JTBビジネスネットワーク	2	▲2	4
7 JTBメディアリテリング	1	▲1	2
8 JTB情報システム	1	+1	0
9 JCBトラベル	3	▲2	5
10 * JWソリューション	1	+1	0
11 その他JTBグループ会社	0	▲12	12
計	39	▲24	63

●ホテル・レストラン関係 構成比 35.2% ← 33.3%

施設名(企業名)	人数	増減	37期
1 日本ホテル	6	+2	4
2 * ホテルおかだ	3	+3	0
3 叙々苑	3	+2	1
4 プリンスホテル	3	▲4	7
5 * 京王プラザホテル	2	+2	0
6 金谷ホテル観光	2	+2	0
7 ジャパン・トータル・クラブ	2	+2	0
8 ロイヤルパークホテルズ&リゾーツ	2	+1	1
9 * ホテル櫻井	2	+1	1
10 共立メンテナンス	2	+1	1
11 * 中沢ウィレッジ	2	±0	2
12 ロイヤルパークホテル	1	+1	0
13 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	1	+1	0
14 ミリアルリゾートホテル	1	+1	0
15 ホテル一井	1	+1	0
16 * おんやど恵	1	+1	0
17 * いなとり荘	1	+1	0
18 * ベッセルホテル	1	+1	0
19 奥利根温泉ホテルサンバード	1	+1	0
20 ホテル三日月	1	+1	0
21 鬼怒川グランドホテル夢の季	1	+1	0
22 アルファクラブ武蔵野	1	+1	0
23 テイクアンドキウ・ニース	1	+1	0
24 休暇村岩手網張温泉	1	+1	0
25 ミールワークス	1	+1	0
26 水上高原リゾート	1	+1	0
27 ホテル南風荘	1	+1	0
28 ハケ岳高原ロッジ	1	+1	0
29 * 熱川館	1	+1	0
30 箱根花紋	1	+1	0
31 * 共栄商事	1	+1	0
32 * 石垣島シーサイドホテルサンシャイン	1	+1	0
33 * ダイワロイネット	1	+1	0
34 横浜ベイホテル東急	1	±0	1
35 グランドニッコー東京 台場	1	±0	1
36 ホテルニューオータニ東京	1	±0	1
37 喜久多(稲取)	1	±0	1
38 小田急リゾート	1	±0	1
39 帝国ホテル	1	▲1	2
40 ハレクラニ沖縄	1	▲1	2
41 その他	0	▲34	34
計	58	▲2	60

●その他旅行会社 構成比 6.7% ← 14.4%

企業名	人数	増減	37期
1 京成トラベルサービス	2	+1	1
2 * 小田急トラベル	2	▲6	8
3 * ジョイントワールドトラベル	1	+1	0
4 フェニックス観光	1	+1	0
5 コスモエージェンシー	1	+1	0
6 * JCIT	1	+1	0
7 JR東海ツアーズ	1	±0	1
8 菱和ダイヤモンド航空サービス	1	▲1	2
9 ひゅうトラベルサービス	1	▲1	2
10 その他	0	▲12	12
計	11	▲15	26

●JTB総合提携店・パートナー店 構成比 4.8% ← 2.8%

企業名	人数	増減	37期
1 マイタウトラベル	3	+3	0
2 浦安旅行サロン	2	±0	2
3 湘南トラベルプラザ	1	+1	0
4 サン旅行センター	1	+1	0
5 トラベルネット	1	▲1	2
6 その他	0	▲5	5
計	8	+3	5

●運輸関係 構成比 9.1% ← 5.0%

企業名	人数	増減	37期
1 商船三井客船	2	+2	0
2 帝産バス	2	+2	0
3 JR東海	1	+1	0
4 はとバス	1	+1	0
5 JR東日本ステーションサービス	1	+1	0
6 国際自動車	1	+1	0
7 川崎タクシー	1	+1	0
8 Kmグループ	1	+1	0
9 東京ヤサカ観光バス	1	+1	0
10 日立自動車交通	1	+1	0
11 横浜市交通局	1	+1	0
12 首都圏新都市鉄道	1	±0	1
13 JR東海バスセンターズ	1	▲2	3
14 その他	0	▲5	5
計	15	+6	9

●空港サービス、警備関係 構成比 7.9% ← 7.2%

企業名	人数	増減	37期
1 航空保安事業センター	7	+7	0
2 にしけい	4	+4	0
3 JALグランドサービス	2	▲2	4
4 その他	0	▲9	9
計	13	±0	13

●その他 構成比 12.7% ← 1.7%

企業名	人数	増減	37期
1 オルビス	1	+1	0
2 トラストシップ	1	+1	0
3 三喜リアルエステート	1	+1	0
4 トヨタモビリティサービス	1	+1	0
5 ニチ学館	1	+1	0
6 トヨタカローラ神奈川	1	+1	0
7 アンダーツリー	1	+1	0
8 はらだ歯科クリニック	1	+1	0
9 Ling	1	+1	0
10 リビングライフグループ	1	+1	0
11 * サンドラッグ	1	+1	0
12 * Tourcandy	1	+1	0
13 東京モバイルネットワーク	1	+1	0
14 * スカイライン	1	+1	0
15 三英堂商事	1	+1	0
16 ベジコープ	1	+1	0
17 目黒スタジオ	1	+1	0
18 ナス物産	1	+1	0
19 * アポロエステート	1	+1	0
20 * イベントサービス	1	+1	0
21 コアズ	1	+1	0
22 その他	0	▲3	3
一般企業就職者計	21	+18	3

*印は今年度新規就職先

第38期生 就職内定者計	165名
--------------	------

4. 学生募集関連

学生募集活動につきましては、コロナ禍により4～5月は学校説明会や高校訪問を行えなかつただけでなく、ツーリズム産業へ与えた影響の大きさから、志望する学生の減少が当初より懸念されるどころでした。また、夜間部のデュアル科は企業実習を単位として認定する学科で、その前提条件となる企業側の受け入れが困難であることから、2021年度入学生の募集は停止する判断をいたしました。

そのような状況下において学生を確保すべく、今までに取り組みが無かつた Zoom によるオンライン学校説明会やオンライン面接による募集活動を実施しました。さらにオリンピック・パラリンピックの開催予定期間に学校説明会を追加設定し、募集活動に努めましたが、結果は予測以上に困難をきたしました。また、留学生に関しては、優秀な留学生の入学実績が多い日本語学校を重点的に訪問し募集活動を行いました。が、外国人の来日が困難な状況が続いたことから、日本語学校に在籍する学生が減少し苦戦いたしました。

2021年度の入学予定者は【表11】のとおり98名（前年比43.8%）と大幅な定員割れをすることになり、うち日本人学生は82名（前年比46.9%、93名減）、留学生は16名（前年比32.6%、33名減）となりました。

【表11】入学者数の推移

入学年度	2021 年度見込	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度	2014 年度
観光科 (ウチGIコース) (ウチ留学生)	82 (10) (3)	139 (29) (1)	163 - (6)	148 - (11)	155 - (15)	162 - (17)	169 - (7)	180 - (4)
ホテル科 (ウチ留学生)	4 (1)	27 (5)	25 (3)	23 (6)	27 (5)	23 (3)	44 (5)	34 (3)
訪日科 (ウチ留学生)	12 (12)	43 (43)	47 (47)	45 (45)	43 (43)	52 (52)	43 (43)	40 (40)
夜間部 (ウチ留学生)	0 (0)	15 (0)	20 (0)	20 (0)	34 (0)	28 (0)	36 (0)	22 (0)
合計 (ウチ留学生)	98 (16)	224 (49)	255 (56)	236 (62)	259 (63)	265 (72)	292 (55)	276 (47)
前年比	43.8%	87.8%	108.1%	91.1%	97.7%	90.8%	105.8%	96.2%
日本人学生	82	175	199	174	196	193	237	229
前年比	46.9%	87.9%	114.4%	88.8%	101.6%	81.4%	103.5%	98.7%

(1) 広報展開について

広報活動につきましても、ホームページや進学情報誌への広告展開に加え、高校生に最も影響力の高い SNS への広報宣伝を強化してまいりました。SNS はツイッター、LINE、インスタグラムにおける展開を取り組み続けております。今後も一人でも多くの高校生に魅力ある内容を吟味しながら情報発信していきます。

特にコロナ禍において、学校のスケジュール変更や感染予防の対策等をホームページ上に掲載しながら、情報公開手段として有効に活用しつつ、安心・安全対策を発信するよういたしました。

対面営業の出来ない緊急事態宣言下には、首都圏の高等学校向けに進学サポート

企業を通じて、進路変更者向けへのFAXによる出願の促進、大学の観光系学部受験予定者向けにダイレクトメールの発送にのみならず、受験会場エリアの学生宛てにスマホ広告の発信などデジタル活用の広報を行いました。

【表12】のとおり、資料請求数は7,319件（前年比92.8%）、ホームページの総ユーザ数は71,393人（前年比92.7%）、スマートフォンに関しては51,021人（前年比95.0%）に留まりました。昨年度に発信を始めたインスタグラムにおいては、フォロワー数が昨年度末420名登録に対して、1,055名と2倍以上に増加しておりますので、今後も本校の魅力を拡散すべく情報発信に活用いたします。

【表12】 広報・説明会等の実施状況

対象	内容	2020年度		2019年度		2018年度 実績	
		実績	前年比	実績	前年比		
広報	資料請求	7,319件	92.8%	7,889件	105.4%	7,483件	
	HP総ユーザ数 (うち、スマートフォン)	71,393人	92.7%	76,995人	106.0%	72,640人	
		51,021人	(95.0%)	53,727人	(105.0%)	51,178人	
説明会 (日本人・生徒)	学内開催	延人数	(242人)	(32.5%)	(745人)	(98.9%)	(753人)
		* 実人数	158人	39.5%	400人	98.0%	408人
		うち、出願数	91人	59.5%	153人	96.2%	159人
	出願率	57.6%	+ 19.3%	38.3%	▲ 0.7%	39.0%	
	学外	実施回数	38回	48.1%	79回	74.5%	106回
参加者		268人	47.9%	559人	88.4%	632人	
留学生	学内個人面談(留学生)	57人	34.3%	166人	91.2%	182人	

※ 前年度3月～当年度2月の実績比較、* 実人数は、該当年度受験対象者のみ

(2) 営業活動について

高校や催物会場で行う進路ガイダンスは中止が相次ぎ、資料請求者及び学校説明会参加者へのアプローチを目的とした首都圏・関東・甲信越エリアの高校への訪問に困難をきたしました。よって、JTB教育旅行営業個所への協力を要請し、担当エリアの高等学校の情報共有を実施しながら、受験学生の紹介・推薦を依頼しました。結果、5支店から6名の生徒の推薦を得ました。

全国の高校へは学校案内を送付しながら、入学実績校に関しては指定校推薦書を交付して更なるパイプ強化に努め、学校説明会への積極的な参加を依頼しましたが、ツーリズム産業の受けたダメージの払拭が十分に出来ず苦戦いたしました。

説明会の実施状況については、本校開催の説明会参加者は242人（前年比32.5%）、学外での説明会につきましては268人（前年比47.9%）と減少いたしました。留学生の募集につきましては、本校入学実績の高い日本語学校を優先的に訪問して関係の維持強化に努め、四年制大学志向も強くなっているため、既存の出身国以外からの、より優秀な留学生確保に向けた営業活動や情報収集に努めてまいりました。

(3) オープンキャンパス（学校説明会）について

オープンキャンパスにおいては、ツーリズム産業の楽しさを肌で感じてもらうべく、国内観光資源、海外観光資源や旅行端末操作、ホテルのレストランサービス

等、実体験を含む模擬授業を設定しました。カレッジサポーター（在校生）との交流により、本校の生の雰囲気を感じてもらい、入学後のイメージを実感してもらいました。人気の高い AO 特待生受験者向けや生徒に帯同する保護者向けに特化したプログラムも実施し、参加者の興味に沿った案内を徹底してまいりました。

オープンキャンパスへの参加数は大幅に減ったものの、ツーリズム産業で活躍することを強く希望する生徒が集まったため、出願率は上がることとなりました。よって、今後もオープンキャンパスをツーリズム産業で活躍することを志し、発展に貢献したいという学生との重要接点と捉え、学生の確保に努めてまいりたいと存じます。

5. 総務・財務関連

(1) 収支バランスの維持と経営基盤の安定化

今年度の決算につきましては 17 ページ以降の諸表のとおりでございます。

当年度の収支である、事業活動収支については、感染症対策によるアルコール拭き上げや、遠隔授業等のデジタル対応といった費用が加わった結果、基本金組入前の収支差額は 170 万円の支出超過となり、補正予算に対しては 79 万円の差異となりました。

基本金につきましては、当年度の固定資産取得が除却額を若干上回る予定であり、14 億 86 百万円を維持する見込です。

なお、過去 5 年間を含めた事業活動収支状況、及び基本金の推移は【表 13】のとおりです。

【表 13】事業活動収支状況、及び基本金の推移

[単位:千円]

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
事業活動収入	562,679	551,865	532,387	580,561	613,768	616,850
事業活動支出	564,379	550,837	520,256	573,322	570,617	577,626
事業活動収支差額	▲ 1,700	1,027	12,131	7,239	43,151	39,224
翌年度繰越収支差額	295,805	298,784	303,593	504,977	497,738	454,587
前年良否	▲ 2,979	▲ 4,809	▲ 201,384	+ 7,239	+ 43,151	+ 39,224
前年対比	99.0%	98.4%	60.1%	101.5%	109.5%	109.4%

基本金	1,486,753	1,485,475	1,479,638	1,235,078	1,235,078	1,235,078
前年度末良否	1,278	5,837	244,560	0	0	+ 8,406
前年度末対比	100.1%	100.4%	119.8%	100.0%	100.0%	100.7%

(2) 設備投資状況

今年度の、学習環境及び職員就業環境の改善に向けた、主な設備投資・補修工事の実施、並びに備品の購入状況は【表 14】になります。特徴として、感染症対策、デジタル化、セキュリティ対策が中心となっています。

【表14】2020年度 設備投資状況

実施時期	実施内容	経費(概算)
2020年05月	引き違い書庫 20A	97千円
2020年06月	プリンター CANON LBP441	57千円
2020年07月	温度検知ツール	1,020千円
2020年08月	ノートPC Latitude5310CTO (教育3台, 管理2台)	787千円
2020年09月	地下1階 合格者銘板	282千円
2020年10月	55インチ液晶TVモニター (スタンド、天吊)	3,589千円
2021年02月	教員机上パテーション (講師室)	644千円
	教職員・学生ネットワーク統合 (ITセキュリティ)	2,200千円
	ログ取得管理システム (ITセキュリティ)	2,132千円
	通信回線強化対応	572千円
2021年03月	加圧給水ユニット交換工事	979千円
	図書(資産計上分)	30千円
	郵便計測器 ヒッコーハウス	473千円
2020年度計		12,860千円

(3) 学校経営の中長期的安定化を見据えた経営課題への対応

新・中期経営計画“RE-CREATION JTC”における、課題解決に向けた具体的な取組みに着手しており以下のとおりとなります。

① JTC リブランディングに向けた取組み

・ JTC カルチャー改革の推進

ミドルマネジメント層における経営参画意識の向上として、各部門の管理者による業務推進会議を主宰し、「コンプライアンス」「リスクマネジメント」「ダイバーシティ」「ブランディング」の自個所チェックと結果共有を実施しました。

・ 高等教育無償化への対応

社会に認められる人づくり、学校づくりの一つとして修学支援新制度の対象校となりました。当年度は40名の学生が授業料減免を受けています。

・ 内部統制の強化

公認会計士による内部統制の整備状況と運用状況の調査と検証を行い、その結果を今後の組織運営、および学校運営に反映させ、体制強化の取り組みを開始しました。

② JTC 事業のデジタル化

・ 授業をはじめ募集説明会や入試面接において、オンライン対応可能な体制を構築し、コロナ禍における学校運営を実施しました。次年度についても取組を継続し、対象範囲を拡大するとともに、更なる質の向上を目指して参ります。

・ 募集から就職まで一元化された学生管理システムの構築を目的に現管理システム (InfoClipper) の後継システムの選定ならびに新システムに実装する機能要件の検討を行い、導入に向けプロジェクトで検証しております。

6. その他

(1) 要員体制について

	常勤教職員・役員						計	専門講師 (非常勤)	合計
	校長 (理事)	理事	教務職員	事務職員	派遣職員				
2020年度期首	1名	2名	15名	13名	1名	32名	36名	68名	
2020年度期末	1名	2名	15名	13名	2名	33名	36名	69名	

※ その他、理事長1名(非常勤)、学校医1名(非常勤)、保健師1名(非常勤)

(2) 理事会・評議員会の開催状況について

【理事会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2020/04/01	1.	理事長の選任に関する件
		2.	常務理事の選任に関する件
		3.	監事の承認に関する件
		4.	理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位に関する件
		5.	議事録署名人の選任に関する件
第2回	2020/05/22	1.	2019年度 事業報告及び決算に関する件
		2.	役員・評議員の選任等に関する件
		3.	議事録署名人の選任に関する件
第3回	2020/06/04	1.	監事の補欠選任に関する件
		2.	議事録署名人の選任に関する件
第4回	2020/06/24	1.	監事の選任に関する件
		2.	常務理事の選任に関する件
		3.	理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位に関する件
		4.	退任理事に対する退任慰労金贈呈に関する件
		5.	議事録署名人の選任に関する件
第5回	2020/08/31	1.	評議員の補欠選任に関する件
		2.	議事録署名人の選任に関する件
第6回	2020/11/25	1.	2020年度 上期学校運営概況に関する件
		2.	経理規程改訂に関する件
		3.	議事録署名人の選任に関する件
第7回	2021/03/24	1.	2020年度 学校運営概況に関する件
		2.	2020年度 予算改定に関する件
		3.	2021年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		4.	議事録署名人の選任に関する件

【評議員会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2020/05/27	1.	【諮問事項】2019年度事業報告及び決算に関する件
		2.	【決議事項】評議員の補欠選任に関する件
		3.	【決議事項】理事の補欠選任に関する件
		4.	【決議事項】議事録署名人の選任に関する件
第2回	2020/06/15	1.	【決議事項】監事の補欠選任に関する件
		2.	【決議事項】議事録署名人の選任に関する件
第3回	2021/03/24	1.	【報告事項】2020年度 学校運営概況に関する件
		2.	【諮問事項】2020年度 予算改定に関する件
		3.	【諮問事項】2021年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		4.	【決議事項】議事録署名人の選任に関する件

なお、2021年度につきましては、

理事会 … 11月24日（水）、2022年3月23日（水）

評議員会… 2022年3月23日（水）

に開催を予定しております。

以上